

## 「水中の放射性セシウムのモニタリング技術を考えるシンポジウム」のご案内 (水中の放射性 Cs モニタリング手法の技術資料検討会報告会)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門

環境水中の放射性セシウム(Cs)を存在形態別に測定することは、発生源解析、長期動態評価、環境リスク管理の視点から重要です。しかしながら、福島第一原子力発電所の事故の影響を受けた福島県内の河川水等の溶存態放射性 Cs 濃度は現在 0.001~0.1 Bq/L と極めて低いことから、その濃度を正確に測定するためには多量の環境水をろ過・濃縮する必要があるなど、前処理に多大な時間を要する等の課題がありました。これらの課題に対して新たなモニタリング方法が大学・研究機関・企業を中心に開発されてきましたが、それらの方法を日常業務として使用するための技術資料や各方法間の精度比較は実施されていませんでした。

このような背景の下、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門は、2014年度より「水中の放射性 Cs モニタリング手法の技術資料検討会(委員長 筑波大学・恩田裕一教授)」を立ち上げ、環境水中の低濃度の放射性 Cs 濃度測定方法について最新の知見を盛り込んだ技術資料を作成するとともに、国内外の 17 機関が参加する精度評価試験を実施しました。また、モニタリング技術の情報提供を目的とした、「水中の放射性セシウムのモニタリング手法に関する研究会」をこれまで 4 回開催しました。

そしてこの度、「水中の放射性 Cs モニタリング手法の技術資料」が完成したことを受け(9月14日公開予定)、標記シンポジウムを下記の要領で開催致します。多数の皆様にご参加頂ければ幸いです。

○日時 : 9月14日(月)13時00分~17時00分頃(受付開始 12時40分~)

○場所 : 筑波大学東京キャンパス 大講義室(134 講義室)

○アクセス: 丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 2 分

[http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html) (別紙参照)

○主催 : 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門  
筑波大学アイソトープ環境動態研究センター

○担当 : 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 保高徹生(やすたか てつお)

○参加申込み: 表題に「水中の放射性セシウムのモニタリング技術を考えるシンポジウム 出席希望」と記載の上、9月7日までに [cs-water-ml@aist.go.jp](mailto:cs-water-ml@aist.go.jp) までメールをお送りください。  
(先着順で 200 名までとさせていただきます。申込み人数が超えた場合には、お断りをさせていただきます。)



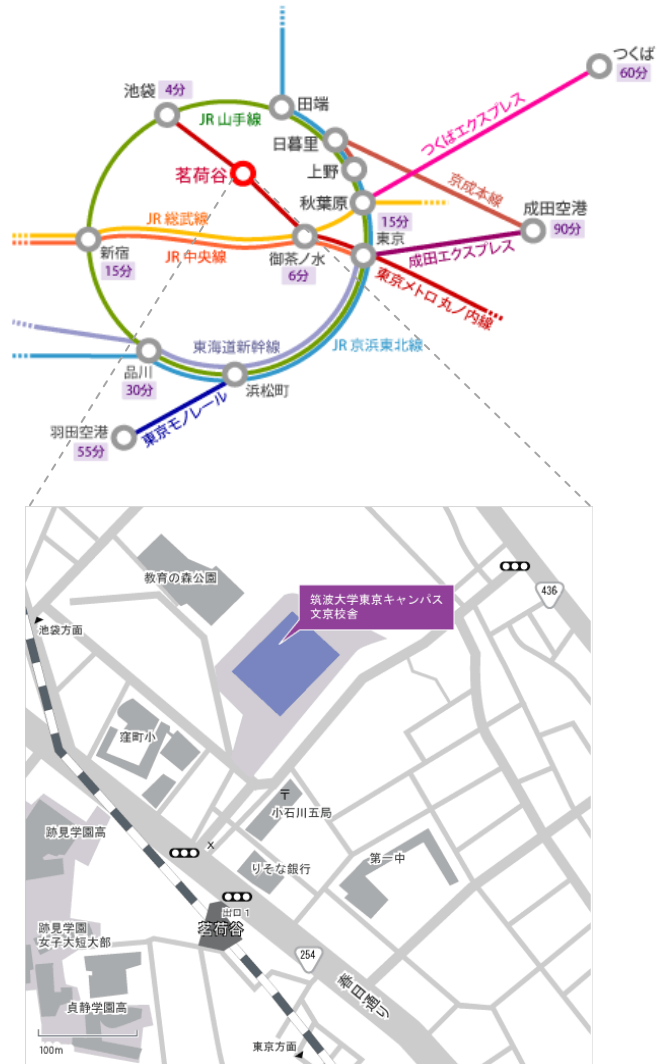
## スケジュール(予定)

1. 主催者挨拶:13時～13時5分
2. 委員会概要(保高徹生氏(産総研)):13時5分～13時15分
3. 水中の放射性セシウムのモニタリングと課題:13時15分～14時00分
  - (ア) 恩田裕一氏(筑波大)
  - (イ) 林誠二氏(国環研)
4. 各種モニタリング技術と技術資料について
  - (ア) 概要(保高徹生氏(産総研)):14時00分～14時10分
  - (イ) 水中の溶存態の放射性セシウムの前処理方法:14時10分～15時00分
    - (\*は一部懸濁態の前処理方法を含む)
    - ① ろ過法および蒸発濃縮法(申文浩氏(東北農研))\*
    - ② ろ過法および蒸発乾固法(江口定夫氏(農環研))\*
    - ③ AMP法(青野辰雄氏(放医研))
    - ④ 固相ディスク抽出法(塚田祥文氏(福島大))
    - ⑤ PBフィルター法(保高徹生氏(産総研))
    - ⑥ イオン交換法(末木啓介氏(筑波大))
  - 休憩:(機材見学を含む):15時00分～15時10分
  - (ウ) 水中の懸濁態の放射性セシウムの前処理方法:15時10分～15時40分
    - (ろ過法は、溶存態のセッションで説明)
    - ① カートリッジフィルター法(辻英樹氏(国環研))
    - ② クロスフローフィルター法(南公隆氏・川本徹氏(産総研))
    - ③ 連続遠心分離法、多段式フィルター法(難波謙二氏(福島大)・恩田裕一氏)
5. 共通試験結果について(保高徹生氏(産総研)):15時40分～15時55分
6. パネルディスカッション(予定):15時55分～16時40分

※機材展示:16時40分～17時30分まで、122講義室で実施(調整中)

## 会場案内

丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車「出口1」より徒歩2分程度



キャンパスマップ 東京キャンパス文京校舎 (旧大塚地区)  
大講義室 (134 講義室)